

## 平成 27 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月

### 1. 学校概要

学校名 犬山市立東小学校  


---

 種 別    保育園・幼稚園     小学校     小中一貫教育  
            中学校             中高一貫教育     高等学校  
            教員養成             技術/職業教育  
            特別支援学校         その他（                            ）  
 所在地 〒484-0802  
           愛知県犬山市羽黒安戸西一丁目2番地  


---

 E-mail higashi@inuyama-aic.ed.jp  
 Website http://www2.schoolweb.ne.jp/weblog/index.php?id=2310189  


---

 児童生徒数 男子 190名      女子 195名      合計 385名  
           児童・生徒の年齢 6歳～12歳

### 2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（                            ）

### 3. 活動内容

#### (1) 1年間の主な活動

本校は、犬山市の東部の田園地帯が広がる中に位置している。自然に恵まれ、野鳥や生き物が生息し、自然を生かした教育活動を展開することができる環境にある。また、地域の力を生かし、また地域と協力し合った教育活動を展開することで、地域に根付き、環境を考え、社会に貢献しようとする人間づくりを柱にした教育活動を展開することができる。そこで、これまでE S Dの視点に立った教育課程作りを推進し、総合的な学習と教科とをつなぎ合わせながら、より内容の濃いE S Dカレンダー作成を行ってきた。3年目となった今年度の高学年では、より地域と密着しながらも、日本全体や世界に目を向けた取組を行うことで、児童が課題を見出し、自らの力で解決する中で、よりよい社会をつくっていかうとする能力や態度を身に付けさせたいと考え、本テーマを設定した。

#### (活動内容)

生活科や総合的な学習を軸として、E S Dを全校で展開した。各学年の取組は以下のようである。

1年生は、校内の自然環境に目を向け、四季折々の草花や木々の様子から、生きている植物とのつながりを感じることができた。

2年生は、年間通じて季節の作物を作った。作物を育てることが自分たちの命を育むものであり、育てること、収穫すること、それを味わうことによって、自然への感謝の気持ちをもつことができた。それとともに、地域に出かけ、地域の人とふれ合う活動を通して、人とのつながりの大切さに気付くことができた。

3年生は、「生き物から見つめる私たちの未来」をテーマとして、学校付近を流れる半ノ木川の生物にして観察し、環境の変化について学習した。日本在来種の生物や絶滅が危惧される生物を発見したり、また、外来種が生息し環境の変化を感じたりすることができた。さらに、犬山市にある日本モンキーパークを訪れたり、校区の環境を考える会を実施したりして、自分たちの地域を見つめ、将来につながる自然環境について考えることができた。

4年生は、「福祉を通してともに生きる社会」をテーマとして、老人ホームに訪問したり、障害者の立場に立った学習を展開したりした。それとともに、「ユニバーサルデザイン」について学習し、みんなが居心地よくともに生きていくための工夫を考えた。校内の安全や低学年の児童がより過ごしやすい学校生活を送るためのアイデアを生み出し実践した。それにより、4年生の児童は、社会や人とのつながりや生き方について考えることができた。

5年生は、「お米から見る日本」をテーマとして、地域で農業を行っている方々から、「稲作」を学んだ。そして、食の安全や作物にまつわる日本の伝統や文化をつなぎ合わせながら、日本のすばらしさを感じ取り、日本人としての誇りにつなげてきた。その一方で、一次産業と対比した「物づくりの愛知」の伝統や技術を学習し、日本の未来を考える学習を行う。それにより、日本人として生きることへの自信と将来への希望につなげていきたいと考えている。

6年生は、「世界から見る日本」をテーマとして、日本人・国際人・地球人としてのグローバルな視点で学習させたいと考えた。具体的には、6月に行われた京都・奈良への修学旅行を柱として、日本の歴史や文化を社会科と関連させながら学習し、自分たちの生き方と重ね合わせながら、人としての生き方考える学習を行った。そこで培った日本の伝統や文化の知識から、さらに、世界から見られている日本を考えさせ、日本人の「おもてなし」のすばらしさを感じさせる。その上に立ち、さらに今度は、世界の文化を自国のそれと比較しながら考えさせる。そして、世界で起こっている様々な問題にも注目させ、「日本人の自分たちが今できることは何なのか」を話し合わせながら、具体的な活動につなげていく。それにより、地域や社会に貢献していく素地をつくり、将来への希望をもたせていきたいと考えている。

活動の成果の成果としては次の点が挙げられる。

- 調べ学習や話し合いから、多面的に考えたり、判断したりしようとする資質が育ち、意欲的に学習しようとする態度が育っている。
- 仲間を大切にし、仲間とともに前向きに学習したり、活動したりしようとする仲間意識が育っている。
- ・今の自分の姿を見つめ直し、将来の自分や周り（地域）について考え、地域へ貢献して生きていく気持ちが育っている。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）